3月 定例会

平成19年度一般会計・特別会計・企業会計予算
熊谷市土砂等のたい積の規制に関する条例などを可決

三月市議会定例会は、二月二十八日から三月二十日までの二十一日間を会期として開かれました。

この議会では、平成十九年度の熊谷市一般会計・特別会計・企業会計予算のほか、「熊谷市土砂等のたい積の規制に関する条例」「熊谷市行政財産の使用料に関する条例の一部を改正する条例」などの市長提出議案四十二件を審査し、五件の専決処分を承認、三十四件の予算・条例議案等を原案可決、三件の人事案件に同意しました。

また、市民の方々から提出された請願二件も審査しました。

三月定例会の概要

初日（二月二十八日）の本会議では、市長から「二月十三日には、江南町との合併が成就し、本市は県北で初の二十万都市となった。今後は、さらに都市力を蓄え、より自立性の高い都市へと羽ばたく準備を進めていきたいと考えている。

そのため、現在、新たなまちづくりに向けた各種基本計画の策定に着手し、基礎固めに鋭意取り組んでいる。また、合併により、それぞれの地域に根ざした伝統や文化など多様性に富んだ新たな有形・無形の財産を増やすことができたほか、さまざまな分野で、多くの有為な人材を得ることもできたと考えている。

さらに魅力あふれるまちづくりを進めるため、これらの新たな財産と本市が持つ潜在能力の高さを都市経営の戦略に組み入れ、今後も行政サービスの質の向上とたゆまぬ行財政改革を進めることを念頭に置きながら、市政の執行に当たっていきたいと考えている。平成十九年度の予算編成に当たっては、マニフェストに掲げた事業、新市建設計画に位置付けられた事業、議会の一般質問やハートフルミーティングでのご意見・ご要望等を踏まえ、各分野にわたって行政サービスの充実を図るとともに、特に、教育、環境、土木の分野について重点配分を心掛けて取り組んだところである。

熊谷次郎直実像

平成十九年度の予算規模は、一般会計＝五百五十一億円（二・五％増）、特別会計（国民健康保険特別会計・下水道特別会計・公共用地先行取得特別会計・駐車場事業特別会計・老人保健特別会計・熊谷都市計画事業土地区画整理事業特別会計・農業集落排水事業特別会計）＝四百一億八千万円（三・九％増）、企業（水道事業）会計＝六十九億五千九百万円（五・三％減）で、これらを合わせた予算総額は、二・五％増の千二十二億三千九百万円となっている。

また、平成十八年度の三月補正予算については、市町村合併推進体制整備費補助金を活用し、取り組む事業のほか、事業費の確定等に伴い、追加または減額を行うもので、一般会計は四十一億四百万円、特別会計はマイナスの九千四百万円、水道事業会計は一千万円で、合計約四十億二千万円の補正である。」旨の施政方針が述べられました。

三月五日の本会議では、条例案や予算案等に対して質疑が行われました。そして、各議案及び請願は、所管の常任委員会に付託されました。

六日には、総務文教常任委員会及び福祉環境常任委員会において、また、七日には、市民産業常任委員会及び都市建設常任委員会において、付託された議案等について審査が行われました。

十二日、十三日、十四日、十五日の四日間は、二十七人の議員による市政に関する一般質問を行いました。

最終日（二十日）の本会議では、各常任委員長から案件審査の経過及び結果が報告され、質疑、討論を行い、市長提出議案を、すべて原案どおり可決しました。そして、教育委員会委員の任命及び人権擁護委員候補者の推薦について同意し、三月定例会は閉会しました。